



大砂土中だより

はつ らつ

澗 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.3 令和6年5月31日号

心の掃除

～幸せはすぐそばに～

校長 倉林 弥生

木々の緑色が深さを増す中、5月もあっという間に終わりを迎え、間もなく梅雨の時期がやって来ます。右の写真は、「カリステモン」、別名「金宝樹（きんぼうじゅ）」という花です。近隣の方が届けてくださいました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。ピンを洗うためのブラシにそっくりなので、和名「ブラシの木」、英語では、「ポトルブラッシュ」と呼ばれており、「金宝樹」の文字から縁起の良い花としても親しまれているそうです。



新学期が始まり、早くも2か月が経とうとしています。1年生は、この2か月の間に大砂土中学校の生活にすっかり溶け込んできています。また、2年生は、中堅学年として、3年生は、少しずつ近づいてくる進路選択に向けて、一人ひとり、目標に向けて頑張ろうとしている姿が見受けられます。

さて、5月13日から15日の三日間、3年生の京都・奈良への修学旅行が無事に終了しました。日本が世界に誇る素晴らしい文化財や国宝を目の当たりにし、古都の歴史と文化を肌で感じて感動を胸に焼き付けることができたと思います。私も久しぶりに修学旅行の引率をしました。そして、活動二日目に、京都市内のあるお寺を訪れ、お話を聞く機会がありました。

主な内容は、『現代はスマホをみんなが持ち歩き、多くの情報を得ている。しかし、その情報が全てになり、周りを見つめることを忘れてしまっている。少しスマホから目を離し、視線を変えると、幸せが近くにあることに気付く。今日、こうしてここへ来ることができたことは幸せなこと。毎日食事ができることも幸せなこと。周囲は、幸せであふれている。情報が多すぎるこの世の中、たくさんの情報でいっぱいになった心の掃除をしてほしい』ということでした。

確かに情報があふれ、便利な世の中にはなっていますが、必要のない情報まで入ってきてしまいます。すると、いつの間にか情報だけに頼り、自分で考えることを忘れ、その結果、事実や本質を見失ってしまうことがあります。また、心に余裕がなくなり、面白くないことがあれば、周囲のせいにしてしまうこともあります。心の中を掃除して、自分の周りにある小さな幸せをたくさん探し、その幸せで心が満たされれば、他の人にも目を向ける余裕が生まれます。さらには、他の人の幸福を願うことができる人も増えるはずです。私もそのような人でありたいですし、皆さんにも、そのような大人になってもらいたいと思います。

明日から6月に入ります。3年生にとっては中学校最後の大会である学校総合体育大会が始まります。今までの練習の成果を全て発揮し、頑張ってください。全力で応援します。

また、6月は、いじめ撲滅強化月間です。以下は「大砂土中いじめ防止宣言」です。いじめ撲滅を目指し、皆さん一人ひとりにとって安心できる学校に大砂土中学校をしたいと思います。

～大砂土中いじめ防止宣言～

「私たちは、いじめを起こさないために次のことを宣言します」

- 相手の気持ちを考える 未来の自分に誇れる言動をします
- 困った時は、一人で抱え込まない 信頼できる人に相談します
- 「おかしいな」と思ったら、迷わず助けに入る 友達の些細な変化にも気付きます
- それぞれの個性を大切にする 人との違いを受け入れ、尊重し合います